

DX-Eさが

初任者研修及びスーパーティーチャーによる 1人1台端末を活用した授業公開



嬉野市立大草野小学校 スーパーティーチャー 大石 由紀 教諭
 単元名：“My Future, My Dream.”～中学校生活や将来について考え、夢宣言をしよう～小学6年外国語科

ICT活用のポイント

- ・職業名のスライドを共有し、児童が自分のペースで英語を言い慣れるようにする。
- ・JamboardでBINGOシートを共有し、児童が英語表現を言い慣れるようにする。
- ・Googleフォームを使い、児童の振り返りを瞬時に集約し全体把握をする。

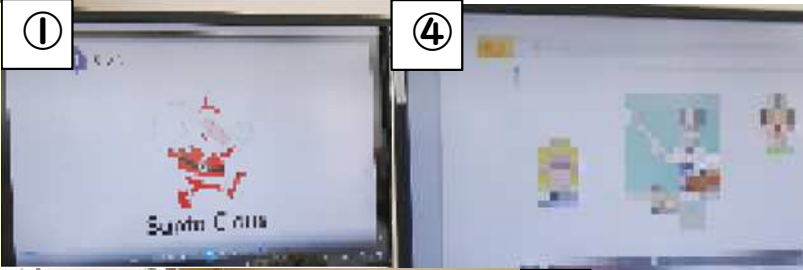
学習の流れ 全9時間（本時3／9）

導入	展開	まとめ
①チャンツを歌って英語らしい言い方に慣れる。 電子黒板	④ “What do you want to be?” のチャンツを歌って、本時に使用する表現を想起する。 電子黒板	⑧本時の振り返りを行う。 1人1台端末
②カタカナ表記の言葉を英語で聞き、読み方を確かめたり、文字を書き写したりする。 電子黒板	⑤教科書のStarting OutとWe Can! 2 Let's Listenを聞く。 電子黒板	
③職業名と部活動名を一人一人に合ったペースで言い慣れる。 1人1台端末	⑥先生方のなりたかった職業を尋ねて、本時で使う表現を想起する。 1人1台端末	
【めあて】『これからの自分のことをよく知ってもらうために、将来の夢を伝えよう。』	⑦将来の夢について、グループ内で伝える。	



← 「SAGA Eコネクト」サイトではたくさんの事例を紹介しています。
<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

電子黒板活用の場面



①英語らしい言い方に慣れるためにチャンツを歌う。
④本時で使用する表現を想起するために、チャンツを歌う。



②カタカナ表記の言葉を英語で聞き、読み方を確かめ、文字を書き写す。
⑤動画を見て、どんな英語が聞き取れたかをクラスで出し合う。

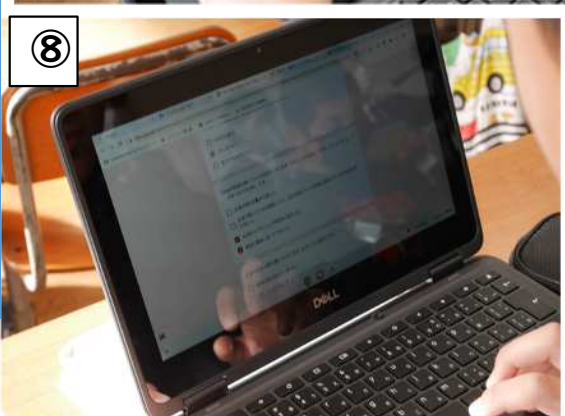
児童が一人一台端末活用している場面



③職業名と部活動名の英単語を、一人一人に合ったペースで言い慣れる。
【プレゼンテーション機能 1人1台端末】
児童は発音が分からないものについては、教師に何度も尋ねて、繰り返し発音を練習することができる。



⑥職業BINGOクイズ
先生方のなりたかった職業を尋ねて、本時で使う表現を想起する。
【ホワイトボード機能 1人1台端末】
端末を使用することで、教師はクラスの数分のBINGOシートの印刷や職業カードの作成の準備の手間が省ける。



⑧本時の振り返りを行う。
【アンケート機能 1人1台端末】
教師は職業名を言い慣れた児童の数などを瞬時に把握することができる。
振り返りのフォームに回答機能（テスト形式）をつけると、教師からのコメントをつけて児童に返却することもできる。

【授業参観者の感想より】
・タブレットを使った学習には、マナーやルールの徹底が必要なため、まずは学級経営がとても大切になるということ学びました。改めて、日々の学級経営を大事にしていきたいと思います。また、授業では様々なタブレットの使い方を知ることができたので、実践していきたいと思います。
・普段の授業で、ジャムボートやフォームの存在を知らながらも活用できていないので、とても勉強になりました。また色々教えていただきたいです！